

看護

しずおか

令和3年度

vol.5

会員数

22,362名

(令和4年1月1日現在)

- 保健師 …… 520名
- 助産師 …… 871名
- 看護師 …… 20,288名
- 准看護師 …… 683名



島田市大代のジャンボ干支

特集1

「看護の日・看護週間」「いいお産の日」
イベントを開催しました

特集2

平成28年度～令和3年度

26地域包括ケア推進圏域活動

予定されている研修・行事等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止あるいは変更することがありますので、ご了承をお願いいたします。
ホームページでご確認ください。



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<https://www.shizuoka-na.jp/>

[静岡県看護協会]
お気軽にご利用下さい。



令和4年 新年のご挨拶

(公社) 静岡県看護協会 会長
渡邊 昌子

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、すべての皆様が、本年こそは平和で穏やかな良い年になることを願われていることでしょう。

一昨年からの新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の対応に、ご尽力されたすべての皆様に感謝と敬意を表します。

昨年9月から全国でコロナ感染者数が激減し、県内も落ち着きを取り戻しつつある中、11月頃に新たな変異株が発生いたしました。皆様には、引き続きの感染対策の徹底と冷静な対応に努めていただくようお願いいたします。

コロナ関連では、県行政からの事業受託であるコロナワクチン接種に係る看護職の研修実施や、ワクチン副反応含むコロナ相談窓口の対応等に注力いたしました。潜在看護師の皆様等から自主的な申し出があり、大変心強く思いました。

また、7月の熱海伊豆山地区土砂災害では、多くの施設から災害支援ナースを派遣して下さり、本会からの被災地への支援を終了することができました。

看護職の結束力と責任感の強さを実感し、誇りに思いました。

このような状況下で本会事業が予定通り無事終了できましたのは、ご協力いただきましたすべての皆様のお陰だと心より感謝を申し上げます。

令和4年度は、昨年コロナ禍で中断となりました「地域における災害ボランティア看護師養成」を行政や多職種と連携し、推進いたします。有事に備え、平時から地域での早期対応ができる体制整備を行い、常に「自分ごと」と捉え、尊い命を守るために専門職として考え、行動できる看護職の育成に注力いたします。さらにこの登録制度を創設し「地域は地域の看護職が守る」という思いをもち、看護職含め県民の皆様が安全安心に生活できるよう努めて参ります。

また、昨年から訪問看護ステーション協議会と共同・連携し取り組んでいる日本看護協会のモデル事業「訪問看護総合支援センターの構築」は「新任管理者・管理者育成」のために作成したプログラムを活用、推進して参ります。

本年も、会員の皆様、県民の皆様の声を大切に、専門職として持てる力を最大限に発揮し、最善の看護ケアが提供できるよう支援して参ります。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心より願っております。

令和3年度 第4回定時理事会報告

■開催日 令和3年12月21日(火) ■会場 静岡県看護協会 第1研修室
出席理事：19名 出席監事：3名 オブザーバー：2名
欠席理事：3名 定款第38条に基づき、定足数12名を満たしていることを確認

1. 協議事項(すべての事項について承認される)

- 1) 令和4年度 静岡県看護協会 重点事項(案)
- 2) 令和4年度 教育計画(案)
- 3) 令和3年度 補正予算(案)

2. 報告事項

- 1) 令和3年度 会費納入状況
- 2) 令和3年度 自民党県連・厚生問題対策連絡協議会への要望事項
- 3) 令和4年度 日本看護協会名誉会員・会長表彰候補者の推薦について
- 4) 令和4年度 年間行事予定

県知事訪問

令和4年1月5日(水)に渡邊会長をはじめ、青木専務、櫻井常務、松井常務が年始の挨拶に県庁を訪れました。



令和4年度静岡県看護協会役員 補欠選挙について〈公募〉

現賀茂地区理事から令和4年6月定時総会終結をもって退任の意思表示がありましたので残任期間の賀茂地区理事を公募します。

立候補の方法：役員に立候補しようとする者は、正会員5名以上の推薦を受けて届出なければならない。(細則第19条)

届出方法：立候補届出用紙に記入の上、下記宛先に郵送してください。用紙は事務局に請求するか静岡県看護協会ホームページ【お知らせ】からダウンロードしてください。

宛 先：〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号
エスパティオ3階
公益社団法人静岡県看護協会
選挙管理委員会宛

締 切 日：令和4年2月28日(月)

先人に聞く看護の道しるべ

日本一健康な町を目指して

平井 弘美

昭和の後期になると「人口の高齢化」が社会問題として認識され、保健の目標は「病気の予防」から「生涯にわたっての健康」に拡大し、同時に、質・量ともに増大する高齢者支援需要を支えるシステムが模索されていました。平成元年、厚生省の高齢者保健福祉推進10ヵ年戦略「ゴールドプラン」によって具体的な姿が示され、保健と福祉の施策が大きく変化することとなります。

平成の「健康づくり」がはじまる

昭和63年、県は「㊦だんから㊧っこうしよう㊨運動」(進んで健診・運動と休養・正しい食習慣)を旗印に「日本一健康県づくり運動」を展開しました。岡部町は「健康づくりモデル町」の指定を受け、平成元年から2年間に次のような事業を行いました。

①健康づくり・食生活に関する講演会を開催 ②ハイキングコースの整備、ガイドマップの作成、ウォークラリー大会の開催 ③「食生活推進員」による食生活改善 ④公共施設に健康機器を配置 ⑤現状を総括し、保健福祉の将来像を示す「岡部町保健計画」を作成。

これら総額2千万円を要した事業は、住民代表の実行委員と地域組織の協力によって進められました。中でも県下初の「保健計画」は、多くの住民の知恵を集めたもので「全ての町民が心身ともに健やかに生涯を送ることができる」との願いを込めた「道しるべ」として出来上がりました。事業の成果について「日本一健康な町」に向かう原動力となっていること等を、平成3年3月の日本短波放送「医療ジャーナル」で放送しました。

住民自主組織の活躍

町の保健行政は、その始まりから住民の組織・活動に支えられてきました。町長の委嘱する「保健委員」は「国保補導員」を引継いで発展したもので、地域リーダーとして保健行政ネットワークを構成するものです。積極的な活動と功績が認められ、平成2年10月に厚生大臣表彰を受けたことは、町民全体の喜びでした。

新たに委嘱された「食生活推進員」は、先の「健康を考える会」に合流して食生活の向上と体力づくりの実践に取り組みました。また、全国食生活推進協議会の「食生活改善推進員」としても活動しました。この会のリーダーを務めた小林久子氏が平成20年厚生労働大臣表彰を受けたことは、メンバー全員の大きな励みでした。

平成5年に保健委員OGの「活動を続けたい、何か役立ちたい」という声に応じ、自主組織の「ほほえみの会」が発足しました。保健課は事務局を担当して支援しました。「健康増進と親睦を図りながら地域の健康づくりと福祉活動に参加すること」を目標として、保健行事や啓発事業の協力活動をスタートしました。平成6年町内にできた特別養護老人ホーム

の清掃・リネン整理・ディサービスの支援を担当し、後には保健センターの運営ボランティアも引き受け、平成25年まで続けました。平成18年県社会福祉協議会の活動奨励賞を受賞しました。



「ほほえみの会」のボランティア活動

「認知症予防」の挑戦

これまでも高齢者の訪問支援、脳卒中後遺症者のリハビリ教室を実施していましたが「痴呆症」として診断された住民の相談事例が年々増えてきました。施設入所などの処遇に努める一方、有効な痴呆予防の対策が必要だと強く感じていました。当時、町内の民宿で「痴呆予防教室・スリーA」が開設されており、主催者である看護師増田末知子氏の指導を得て、平成9年「痴呆予防教室」を始めました。教室のカリキュラムは、体操・運動・音楽・ゲームを取り入れた「軽症痴呆脳活性化訓練」で、定員10人前後、毎週1回2時間半、5か月間を1コースとするものです。希望者が年々増え、再度の受講者は「フォロー教室」で対応しながら、平成20年まで続けました。これらは「地域保健」平成10年12月号に発表し、先駆的対策として評価されました。教室の詳細は、第一法規の「保健福祉事例集」にも収録されました。

介護保険制度はじまる

介護保険の導入について様々な議論があり、制度設計にも時間がかかりました。国・県から様々な調査や照会があり、岡部町を指名するものもありました。住民の健康状況、高齢者対策の実態や保健・福祉の連携実態など厚生労働省に度々出向いて説明し、全国の会議にも出席しました。

平成9年「介護保険法」が成立すると、平成12年スタートのための準備に大わらわとなりました。特に「40歳以上の全員が将来のために介護保険料を負担する」という点が難題で、昼夜問わず開いた地区別説明会の場でも厳しい意見があり、町の行政批判も出されました。こんな時、制度の趣旨を早くから理解していた組織の会員に度々助けられました。

平成10年10月、第1回の「ケアマネジャー試験」が行われました。担当者として不可欠な資格でしたので、合格発表前は大変ドキドキしました。平成12年4月に運用が始まると、岡部町の利用率は県下で最も高い水準となっており、説明会を数多く開催したことが功を奏し、ホッとしました。

「看護の日・看護週間」 「いいお産の日」 イベントを開催しました

11月3日(水祝) 12:00～16:00にグランシップ10階にてイベントを同時開催し、写真と動画等で看護を県民の方にお伝えしました。

「看護の日」の制定まで

21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心・ケアの心・助け合いの心を、私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。こうした心を誰もが育むきっかけとなるよう、1990年8月「看護の日」の制定を願う会が、旧厚生大臣に要望書を提出し、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日が「看護の日」として制定されました。制定から30年余が経過し、看護の心を広める活動はますます広がっています。

静岡県の「看護の日・看護週間」イベント歴史

静岡県では1992年から地区支部活動として「看護の日・看護週間」イベント開催がスタートしました。協会全体の行事としては、1999年に委員会が設置され、開催場所を東部(東部、富士、熱海伊東、賀茂地区支部)中部(静岡、志太・榛原地区支部)西部(中東遠、西部地区支部)の3ブロックごとに担当し輪番で開催しています。担当地区はその年のテーマを設定し「市民参加型」イベントを通し『～看護の心をみんなの心に～』を実践します。

2021年:コロナ禍の「看護の日」イベント開催(担当:中部地区)

5月予定のイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、11月3日(水祝)にグランシップで開催し、161名の方が来場されました。当日、同会場で高校生対象の「看護職こころざし育成セミナー」が開催され、看護職をめざす高校生から多くの関心を集めました。



今回のテーマ「看護っていいよ。～応援ありがとうございます～」には看護のやりがいを伝え、多くの方々の支援に感謝を伝えたいという思いが込められています。多くの施設からコロナ禍で活躍する看護職の写真を沢山送っていただきました。来場者の方々は興味深くご覧になり、時に質問もあり、看護の心が伝わるイベントとなりました。



「いいお産の日」イベント

「いいお産の日」は、11月3日を「いい(11)おさん(03)」と読む語呂合わせから、1994年に提唱されました。出産の現状をもっと多くの人達に知ってもらい「今のお産の状況をより良い日にしましょう」と産む立場の女性とサポートする助産師の活動です。

昨年はコロナ禍にあり中止しましたが、今年度は、看護の日記念行事と同時開催しました。例年のような育児や授乳指導など対面の活動は自粛し、パネル展示と動画紹介がメインとなりました。約150名の参加があり、高校生にとっては、将来の自分の進路を決めるための参考になったのではないのでしょうか。



写真参加してくださったお母さんが、大変だったお産のシーンを思い出され「あの時生まれた子供がこの子です」と、6か月のとてもかわいい“さつきちゃん”を連れてきてくださいました。ご高齢の3人連れの方々は、ひ孫が生まれるので元気な子供が生まれてきて欲しいと祈りながら「助産師さんたちは大変な仕事ですね。頑張ってください。」と感想を述べられていました。赤ちゃんは生まれる力をもっています。助産師はその見守り役、この世の中でかけがえのない命の誕生が温かく幸せなものであるように願います。



26地域包括ケア推進圏域活動

浜松市北区・天竜区介護職地域連携会議

浜松市北区・天竜区

浜松市北区意思決定支援プロジェクト

浜松市北区

「なおとらシート」を活用した意思決定支援を継続中です。浜松市では、健康なときから「人生会議手帳」、療養期に入ったら「なおとらシート」でACPの推進がすすめられています。

看護のチカラ 第26巻508号(令和3年11月15日号)に特集していただきました。
産労総合研究所 2021 No.568 P35-47



- 日本看護協会(平成28年度)
- 日本看護協会(平成29年度)
- 平成29年度
- 平成30年度
- 令和元年度
- 令和2年度
- 令和3年度

地図の色分けは、発足年度を表しています。

特定行為やらまいか浜松

浜松市西区・北区・中区・東区

令和3年度は、特定行為研修修了者が、施設や事業所を超えて繋がるために、静岡県西部地区を中心に「特定看護師連絡会」を発足。10月に第1回を開催。次回は令和4年2月に予定し「特定看護師の輪」を広めたい。



はままつオレンジけあねっと

浜松市中区・浜北区

2020年は、Webによる認知症の意思決定支援の研修会を実施し、2021年は認知症高齢者の意思決定支援をテーマに事例検討を実施しています。認知症高齢者の意思決定支援において、他機関・他施設での様々な実践事例の検討により、療養の場が変わっても認知症高齢者の意思を引き継ぎ連携した支援を目指し検討を重ねています。

糖尿病deつながるナース支え隊

浜松市東区

遠州の道標

浜松市南区

磐田市・森町の病院、訪問看護ステーションの「看護代表者がつながる会」

磐田市・森町

このつながる会は令和3年度で7年目を迎える。つながることは大切とわかっていても、継続することは至難の業である。でもそれができている。なぜか。目的が明確だから。今更ながら「ぶれない姿勢」が肝になることをこの会で教えられた。



かけふく看看ネットワーク

掛川市・袋井市

しまだ看護つなぎ隊

島田市

しまだ看護つなぎ隊では「認知症高齢者も、ケアする私たちも心豊かな時間を」と題し、鈴木みずえ先生による対面での研修会を企画しました。コロナの隙間に地域の看護職と交流しながらパーソンセンタードケアについて学ぶことができ、看護の原点に立ち返る機会となりました。



焼津が看護でつながる会

災害ボランティアナースの会 Koaナース焼津

災害ボランティアナースの会 Koaナース牧之原・吉田

災害ボランティアナースの会 Koaナース御前崎



公益社団法人静岡県看護協会「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業」という名称のもとで、この事業への参加申請し助成金交付(申請年度の1年間のみ助成)を受けた「活動グループ」が連携活動を展開しています。

当掲載企画を各代表者へ連絡し、お寄せくださった原稿を掲載しています。

令和4年5月28日(土)集大成として、グランシップでフォーラムを開催します。

宮de看看ネットやってマス

富士宮市

活動は、3年目となり12施設23名が参加しています。
医師・薬剤師・保健師・看護師・社会福祉士・行政が連携し「思いをつなぐシート」を活用し地域住民に対するACPの推進に取り組んでいます。

※ACPとはAdvance Care Planning



あなたらしさを看守り隊

富士市

みくりやの未来へつなげる地域の輪

御殿場市・裾野市・小山町

ここいきサポートネットワーク

駿東田方2次保健医療圏域

花と海といで湯の街 ～看-看ネット～

伊東市

さくらパワーネット

河津町

令和3年度居宅介護支援事業所合同講演会(12/10)を開催しました。毎年2回事例研修会を、河津町社会福祉協議会・サンシニア河津・さくらパワーネット合同で開催しています。今回は「災害に備え、いま私たちは、何をすべきか?」のテーマで元宮城県女川町立病院 看護部長 高橋洋子氏に東日本大震災の体験談や災害への備え、その後の活動を講演いただきました。



南豆のケアをつなぐ会 ～Good Care～

下田市・南伊豆町

ゆうかり看看ネット

静岡市駿河区

I LOVE 看と看をつなぐするが

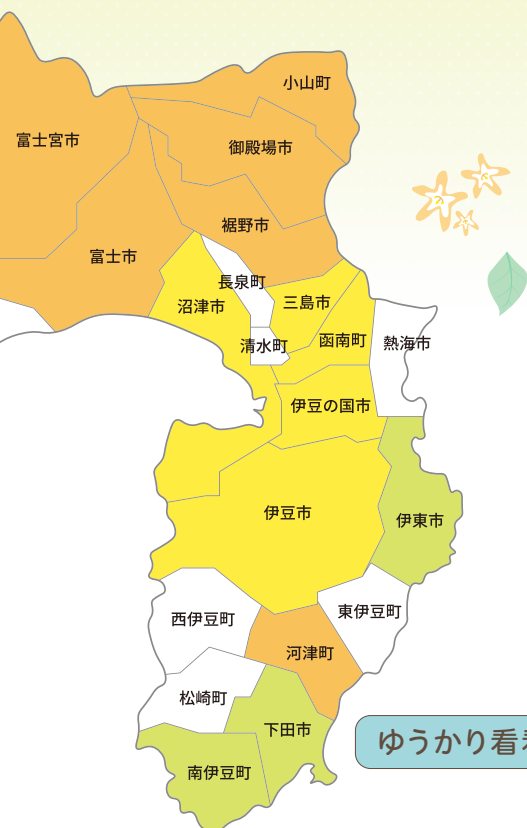
静岡市駿河区

「看と看をつなぐするが」は、駿河区の病院・施設・訪問看護ステーション・診療所の看護師との、顔の見える関係を作り多職種連携を目指しました。今年度は、感染管理認定看護師が施設等に派遣されています。

藤の花かんかんネット

藤枝市

地域で同じ知識と技術を持つために、初年度から地域リンクナースを育成しています。「感染予防;正しい防御具の着脱方法」は、地域に出向いた伝達講習や自作DVD100枚配布で新型コロナウイルス対策にも役立ちました。



お茶の香 みらいく

牧之原市・吉田町

牧之原市、吉田町の協力の下、看看連携事業を継続しています。認知症や褥瘡のケアについて勉強会を行い、地域の看護介護職のレベルアップを図り、顔の見える関係から腹の底が見える関係に発展させています。



認知症者支援のための活動

菊川市

ナースまるネットおまえざき

御前崎市

焼津市

焼津市

牧之原市
吉田町

御前崎市

人の一生を支える看護職

看護職の仕事は傷病者や妊産褥婦の療養上の世話をしたり、診療の補助を行うことですが、病院や診療所だけでなく、訪問看護ステーションや福祉関連施設、企業、行政などの活躍の場は広がり、看護職に対する期待も大きくなっています。そこで、県内の様々な場所で働く看護職を紹介します。

心地よい記憶が残る看護



医療法人伊豆七海会
熱海 海の見える病院
土屋 晴子

看護師になって20年余りですが、今でも忘れられない患者さんがいます。4年目の頃に担当した60代の男性患者さんは胃がんで入院されました。読書やウォーキングが趣味でよく話をしました。しかし、手術後に容態が急変し生死をさまよいました。3か月後のまだ流動食を摂取している年末に「1本でいいから年越し蕎麦を食べたい」と言われ、医師の許可をもらうことができました。大晦日、家族に見守られ蕎麦を口に入れた瞬間の笑顔がとても印象的でした。

その後、外来受診時に病棟に来て「あの時の蕎麦は本当にうれしかったよ。蕎麦を食べるたびに思い出す」と言われ「これ読んでね」と随筆を書いてきてくれることが10年以上続きました。そこには、本やウォーキングの感想など、退院後の生活が充実していることが伺えました。看護は、日々の関わりが相手への記憶に残る仕事だと思います。これからも、相手に心地よい記憶が残るような看護を心がけていきたいと思っています。

健保の特性を生かして



静岡県トラック運送
健康保険組合
齋藤 真輝

当健保は、主に運輸業を行う事業所329社によって組織されている総合健康保険組合です。加入者約4万人のレセプトと健診のデータを分析し、健康増進や疾病予防、病気の早期発見、適切な受診勧奨、重症化予防など様々な取り組みを行っています。トラックドライバーは、今や暮らしと経済を支える「物流」の維持に欠かせない「エッセンシャルワーカー」と称され、昼夜を問わず、全国各地へ物資を届けるために懸命に働いています。そのため、食事や生活が不規則で、喫煙率もかなり高いです。個々の加入者の生活習慣の特性に応じたきめ細かく継続的な支援が必要で、悪戦苦闘しています。トラックドライバーは、融通の利かない勤務スケジュールであり、道路の交通状況も読めないため、健診後の健康相談や

特定保健指導の面談日時の設定がとても難しいです。ただ、事業所に出向くことで職場の雰囲気もわかり、タイミングよく対象者に会えることもあるため、できるだけ事業所訪問するようにしています。しかし、昨今のコロナ禍で対面指導が難しい状況になり、昨年度からZoomを利用したオンライン特定保健指導を導入し、対面と併用して実施しています。また、健康経営に取り組んでいる事業所からの依頼を受け、コラボヘルスも実施しています。加入者や事業所から頼りにされ「相談してよかった」と言われた時は、保健師冥利に尽きます。これからも、加入者が健康で元気に働き続けられるよう支援していきたいと思っています。

患者様に笑顔で心温まる看護を



医療法人明徳会
新都市病院
佐々木 省子

当院に入職して4年目になります。看護師になってから総合病院に勤務していましたが、働き続けられる病院と感じて転職しました。スタッフが患者さんに時間をかけて丁寧に対応している姿をみて、病院全体の雰囲気がとてもアットホームだと思いました。急性期病棟では、整形外科・外科・泌尿器科・眼科・婦人科の周術期看護を行っています。入院当日は患者さん全員にカンファレンスを行い、安全・安心に入院生活が送れるように計画し情報共有します。術後の

患者さんが満足して自宅に帰れるように、外来との継続看護を大切にしています。回復期リハビリテーション病棟では、毎日の多職種カンファレンスと共に、地域連携を積極的に勧めた退院指導を行っています。アットホームと感じた当院の雰囲気は、患者様に笑顔で心温まる看護を実践したいという看護部の姿勢であると納得しました。地域に密着した病院であることにやりがいを感じています。

「看護をもっと深めたい人のために—中範囲理論を活用した根拠ある看護実践—」

教育委員 牧野仁美

東都大学沼津ヒューマンケア学部看護学科の鈴木美奈氏を迎えて本研修が行われました。中範囲理論を活用することで日々の看護実践の意味づけや方向性を導き出せることを、講義・演習を通して学びました。忙しい臨床現場ではなかなかとれない“少し立ち止まって理論を基に看護を振り返る時間”は、受講者の新たな対象理解や看護介入の視点を知る機会となり、リフレクションにもなりました。中範囲理論を活用し、根拠ある看護展開を実践したいと感じた研修でした。



令和3年度静岡県専任教員養成講習会を受講して

受講者 藤枝市立総合病院 橋本圭子

研修は忙しい日常から一歩離れて立ち止まり、自分の看護観を見つめることから始まりました。講義内容は興味深いものばかりで、自分の知識・視野が広がる体験となり、看護を伝える姿勢や方法を学び、深めることができました。教育実習では、学生と触れ合うことで看護基礎教育での教員の役割を実感しました。

7か月間という長い研修期間を、同じ志を持つ個性豊かな仲間と学びあえたことは、何より貴重な時間だったと感じています。今後は、研修での学びを活かし、学生や後輩を支える存在になれるよう心がけると共に、自己研鑽を続けていきたいと思います。



教育研修部からのお知らせ

下記の研修は募集開始が早いため、静岡県看護協会のホームページに掲載いたします。

- 認定看護管理者教育課程ファーストレベル
- 認定看護管理者教育課程サードレベル

※認定看護管理者教育課程セカンドレベルは、令和4年度の開講はありません。
令和4年度教育計画(リーフレット)は、3月中旬頃の発送となります。

職員紹介

私達は令和3年4月から勤務しています。吉川は主に一般研修を担当し、中村は認定看護管理者教育課程と学術推進委員会を担当しています。研修に参加する皆さんが気持ちよく受講できるようサポートしていきたいです。

中村文香(左)・吉川恵理



看護職の働き方改革の推進に向けて

働き続けられる職場づくり推進委員会 富士いきいき病院 松井 千賀子

当院は、設置主体が医療法人の197床の病院です。地域医療とリハビリテーションを2本の柱としています。リハビリテーションは多職種での関わりが多いため、職種ごとにユニフォームの色を変え、誰が見ても職種(看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士・管理栄養士・歯科衛生士・診療技術部等)がわかるようになっています。患者さんのリハビリスケジュールは、入院時に許可を得て廊下のボードに担当者のユニフォーム色別のマグネットを貼り、時間や担当者がわかるように工夫しています。また、看護部では夜勤者用のユニフォームを導入し、夜勤者は看護補助者も同一の色のユニフォームを着用し定められた業務にあたっています。患者さんや他職種からは「夜勤者がユニフォームの色で一目瞭然に分かり、コミュニケーションがとりやすくなった」また夜勤者からは「夜勤明けの時に、いつまでも病棟にいられないと意識して業務にあたっている」と感想が聞かれました。夜勤明けの時間外勤務短縮にもつながっています。

人員に関しては、職員の募集を行うと非常勤の希望者が多く、働く場所があれば働きたいとニーズがあることがわかりました。そこで休暇を取り易くし、非常勤職員は多様な働き方ができるよう条件設定をしました。人員確保で常勤職員も次第に「休む時にはお互い様」の精神で、自分達も休みやすくなり今では働き方改革の推進を図る

ことで職員の定着率が高まり、離職率は毎年10%以下です。子育てが一段落すると常勤に契約変更する職員が毎年数人います。育休取得者については、いつでも職場復帰しやすいように声を掛け合っています。また、当院ではプラチナナース(60歳以上)が活躍し、職員がお互いにWLBを意識した働き方ができるよう推進しています。



申し送り



リハビリスケジュール

ナースセンターだより

お知らせ

※相談・研修は、看護職であればどなたでも受けられます

注) 新型コロナウイルス感染状況により変更する可能性があります。事前にホームページまたはお電話で確認をお願いいたします。

ホームページはこちら



1 移動相談（予約不要）

県下16のハローワーク等に看護職の就業相談員が出向き、就業についてご支援します。お近くの会場にお出かけください。下記の日程で実施、ハローワーク浜北以外では求人施設が参加するミニ相談会も実施しています。

開催時間：ホームページで確認してください（焼津・掛川：午後）

ハローワーク	下田	伊東	三島	沼津	富士 (大黒屋ビル)	御殿場	清水	静岡	焼津 (BiViキャン)	島田	掛川	磐田	浜松	浜北	細江	湖西 (新居地域センター)
2月		22日	22日	15日	8日		15日	9日	4日		7日		9日	18日		22日
3月				15日	8日	22日		9日	4日	22日		15日	9日		22日	

2 復職支援、就業継続のために

受講料無料です。お気軽にお近くのナースセンターへご相談ください。

① 復職支援用研修e-ラーニング

- 最新の医療知識（10コース 73テーマの講義と8テーマのチェック動画）をご自宅で学べます
- 看護技術を確認してお仕事をスタートしませんか？
- 新人看護職員の方も活用してください
- おうち時間でスキルアップしてみませんか？



② 看護技術演習

- 採血、口腔・鼻腔吸引、手洗い、筋肉注射等の演習です（日程はホームページでご確認ください）

3 ナースのお仕事フェア 沼津で追加開催決定！

日程	会場	場所
2月12日（土）	静岡県看護協会 研修室	静岡市駿河区南町14-25
2月26日（土）	三島商工会議所 4階会議室	三島市一番町2-29
3月 5日（土）	浜北文化センター 大会議室	浜松市浜北区貴布祢291-1
3月19日（土）	プラサヴェルデ コンベンションホールB	沼津市大手町1-14

- 開催時間はいずれも13:00～15:30
- 地域の施設担当の方と直接相談できるチャンスです
- 退職や転居予定のある方も地域で長く働くために将来の働き方を考える方、ご来場をお待ちしています

悩みは誰かに話しましょう

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。相談は無料、お気軽にご利用ください。

新型コロナウイルス感染対策は2回目の新年を迎えるほど長くなり、誰の心にも不安の影を落としています。ナースセンターでは看護職のための悩み相談窓口を開設しています。悩みごとや愚痴など何でもお話しください。あなたに寄り添ってお聞きます。一人で悩んでいないでお話してみませんか？

054-202-1780（専用ダイヤル）

はなしてみよう

090-2183-8734 新人専用 毎週水曜日 9:00～16:00



メールでも相談できます

nayamishido@za.tnc.ne.jp

（公社）静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

本 所：TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所：TEL 055-920-2088 FAX 055-928-5037 下田相談所（毎週木曜日9:00～16:00）：TEL 080-2650-0327

西部支所：TEL 053-454-4335 FAX 053-401-3510 天竜相談所（毎週火曜日9:00～16:00）：TEL 080-2650-0237

代議員11名と予備代議員15名を募集します。令和5年度日本看護協会総会の開催日程及び会場は日本看護協会ニュース2月号で公示されます。全日程への参加ができる会員の方に限ります。看護協会の事業に参画するチャンスです。積極的に応募してください。

応募期間：2022(令和4)年1月28日(金)～2月10日(木)

応募要領：往復はがきにて下記事項を記入し、静岡県看護協会へ送ってください。

記載事項：①代議員か予備代議員の別 ②氏名 ③年齢 ④職種 ⑤勤務先 ⑥連絡先住所(自宅または勤務先)

宛 先：〒422-8067 静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ3階

公益社団法人静岡県看護協会 選挙管理委員会宛

院内での転倒転落予防対策 Part3 “情報収集”

●環境変化や状態変化時のリスク



「入院中に発生した転倒・転落による 頭部外傷に係る死亡事例の分析」提言7

- 入院や転棟による環境の変化、治療による患者の状態変化時は、転倒・転落が発生する危険が高まることもあるため、患者の情報を共有する。

※多職種が多く勤務する日勤帯に、夜間と日中の状況をふまえて転倒・転落リスクを分析して予防対策を検討し、夜勤帯へ伝達する。

※転棟などの環境の変化や患者の状態変化によって、転倒・転落リスクが高まることを認識し、転倒・転落リスクを再評価する。

POINT

高齢者や認知機能低下の患者では、環境の変化などで混乱をきたす可能性があるため、転棟前の転倒・転落リスクに関する情報や入院前の患者情報が重要となります。

参考 医療事故調査・支援センター 医療事故の再発防止に向けた提言 第9号

★クイズに答えると、抽選で10名様にQUOカードが当たる!★



問題

平成30年度に発足した
地域包括ケア推進事業は
○団体○市町でしょうか?

当選者

「Vol.4」のクイズの答え：訪問看護管理者育成

小澤 敦子様・鈴木 慶子様・ムーちゃんママ様・
伊井 伊都子様・マリー様・黒猫三毛猫様・
ちゃんねる様・秋本 芳美様・モンチ様・もかみかん様

応募方法

葉書又はメールで①答え②氏名③所属④電話番号⑤〒⑥住所⑦看護しずおかの感想⑧看護協会へのご意見をお書きのうえ、下記宛にお送り下さい。正解者の中から、抽選で10名の方にQUOカード(1000円分)を差し上げます。当選者は「Vol. 6」に掲載します(ペンネーム可)

■葉書の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会総務部 看護しずおかクイズ係

■メールの宛先

kango@shizuoka-na.jp
又はQRコードから



応募締切日 2月28日(月)

読者の の 広場

様々な場所で働く看護職の人の話を
読んで感動しました

頑張る夫婦の働き方などが
とても興味深かった